

LAN・CAFÉ

だより



May 2016

2016年5月号

山中哲夫コンサート

～山中哲夫シャンソンを歌う～ (入場無料)



プログラム (予定)

L'amour c'est pour rien (恋心)

Le temps des cerises (さくらんぼの実る頃)

Parlez-moi d'amour (聞かせてよ愛の言葉を)

La vie en rose (ばら色の人生)

Sombre dimanche (暗い日曜日)

Tu ne sais pas aimer (人の気も知らないで)

Les feuilles mortes (枯葉)

Les amours finissent un jour

(ある日愛の終わりが)

2016年5月17日(火)5限に豊橋語研で開かれるランゲージ・カフェ特別版「山中哲夫コンサート」に先立ち、お話を伺いました。(聞き手：中尾充良)

(中尾) 山中先生とシャンソンとの出会いはどのようなものだったのでしょうか。

(山中) いきなり難しい質問ですね。(笑) 何せずっと古い話です。大学のフランス語学科に入った頃に、当時LPで古いシャンソンの復刻盤シリーズが千円が出て、それを聴きはじめたのがきっかけですかね。歌い出したのはそれからです。ギターのエリッククラプトンで。ダミヤやコラ。ボケールなどを知ったのもその復刻盤シリーズです。それ以来あまり進歩していませんが。ギターも。

(中尾) 今回の曲目は、どれも大変なクラシックですが、いろいろなものが混ざっています。

(山中) まず、最初の L'amour c'est pour rien (恋心) ですが、1960年代のエンリコ・マシアスのヒット曲、日本でも越路吹雪や岸洋子などによって歌われています。マシアスは、1938年アルジェリア生まれの歌手です。

(中尾) 自称ベルベル系ユダヤ人の彼は、今でも活躍中で、「アラブ・ムスリムとユダヤ人の対立が激化する中、マシアスは、最近のアルバム『橙』などでアラブ＝ユダヤの幸福な共生を歌っている」(Hatena)とされています。

(山中) 特に時事性を強調するために取り上げたのではありませんが、私の声にはあった歌手ですね。L'amour c'est pour rien は、「愛の無償性」を歌っているのにもかかわらず、日本語の歌詞では「愛のむなしさ」を歌った、いわば正反対の歌詞になってしまっていて、これは日本では女性歌手が多く歌っているためだと思いますが、とにかく、今回、原語でこれを皆さんに披露するのは大変意味のあることだと思います。

(中尾) 次の Le temps des cerises (さくらんぼの実る頃) は、フランス語教室の定番ですが、1860年代ジャン＝バティスト・クレマンの手によるもので、よくパリ・コミューンと結び付けられて語られます。この歌は失恋の歌なのですが、どうして、世界最初の社会主義革命であるパリ・コミューンとの関連が取りざたされるのでしょうか？

(山中) ジャン＝バティスト・クレマンがパリ・コミューンの戦闘員であったこともありますが、後に、この歌がパリ・コミューンの「血の一週間」に彼が出会ったとされる看護師ルイズにささげられた歌だからでもあります。最後に一つストロフが付け加えられ、単なる失恋歌が反戦歌に変わったわけです。

(中尾) 「傷口がパクッと開いた」などというところはとてもシュールで、今聴いてもドキッとさせる歌ですね。

(山中) 失恋の傷口が、文字通り銃弾の傷口に変わったわけです。死傷者への共感ですね。

(中尾) その次の Parlez-moi d'amour (きかせてよ愛の言葉を) は、とても有名な、誰でも一度は聞いたことのあるような曲だと思いますが…。

(山中) Parlez-moi d'amour は、ジャン・ルノワール(映

画監督のジャン・ルノワールではない) が恋人のミス・タンゲットと口論した日の晩にインスピレーションを受けて書かれたとされる歌です。最初に、リュシエンヌ・ボワイエによって歌われたのが 1930 年ですから、もう 80 年以上も誰かによって歌われていることになります。とりわけ、実存主義の歌姫であったジュリエット・グレコの歌ったものが有名です。ボワイエの娘も歌手で、来日の際、名古屋でこの歌を歌いました。日本でも越路吹雪をはじめ多くの人に歌われています。

La vie en rose (ばら色の人生) は、言わずと知れたエディット・ピアフの代表曲です。日本で一番知られているシャンソンの一つと言ってもいいのではないのでしょうか? もっとも、これは相当の年齢以上の人たちの間の話ですが。若い人も知っているのかな?

(中尾) さて、この後は名曲ではありますが、今日の日本では人口に膾炙しているとは言えない曲目が続きます。Sombre dimanche (暗い日曜日) は、1933 年にハンガリーで発表されたヤーヴォル・ラースロー作詞、シェレッシュ・レジェー作曲による歌ということで、もともとはフランス語の歌ではなかったのですね。

(山中) はい。日曜日に恋人が立ち去った部屋で女性が自殺する歌で、「自殺ソング」として有名であったようです。この歌を聴いて世界中で何百人もの人が自殺していると言われていました。そのため、当時フランスで放送禁止となりました。日本では戦前、淡谷のり子が歌っていましたが、歌詞がまったく変わりました。

(中尾) Tu ne sais pas aimer (人の気も知らないで) は、1931 年映画「ソーラ」《Sola》の中でダミヤの歌った歌ですね。

(山中) 女心がわからない性急な若い男に対してあなたは愛を知らないと歌ったものです。洋の東西を問わず、若い男は愛を知りませんね。

(中尾) これも今日ほとんど耳にすることのない曲目だけに新鮮です。そして、いよいよ名曲 Les feuilles mortes (枯葉) ですが...

(山中) シャンソンと言えはこの曲を思い浮かべるという人は今でも多いのではないのでしょうか。ジャック・プレヴェール作詞、ジョゼフ・コスマ作曲のこの歌は 1946 年に

マルセル・カルネが「夜の門」《Les Portes de la Nuit》という映画の挿入歌として使ったのが初めて、イヴ・モンタンによって歌われました。1951 年の《Paris est toujours Paris》という映画でも歌われ、秋のシャンソンの定番となったのです。私は、コラ・ボケールの歌で覚えました。

(中尾) タイトル Les feuilles mortes は直訳すれば「死に葉」で、「枯葉」の持つかさかさした軽やかなイメージはなく、雨に濡れて舗道にこびりつきみじめさが哀愁を際立たせます。

(山中) それが波に消されてゆく砂浜の恋人たちの足跡 (trace de pas) へとつながるわけで、すなわち「足跡がない」(pas de trace) わけですね。同様に「愛の終り」を歌った歌として、最後に、Les amours finissent un jour (ある日愛の終わりが) を挙げておきましょう。1961 年、ジョルジュ・ムスタキの手なるものです。これはいい歌です。ムスタキは数年前に亡くなりましたが。

(中尾) こうして見てみるとシャンソンには味わい深い大人の歌が多いことがよくわかります。現在のヴァリエテ・フランセーズ (フレンチ・ポップ) の全盛の裏には、こうした歴史があることを知っておく必要があります。また、それとの距離において、L&B、ラップ、ヒップホップ、さらにはワールド・ミュージックと十把一からげにされるさまざまなジャンルがフランスの音楽シーンにはあるのだということだと思います。今日はどうもありがとうございました。(おわり)

編集後記

山中先生は、長年、愛知教育大学でフランス語、フランス文化を教える傍らコンサート活動を続けてきた現役の歌手さんです。NHK文化センターではシャンソンの背景をめぐる講座の担当もしてきました。最近では老人ホーム等への慰問が多いとか。この機会にかつては日本でも愛好者の多かった名曲の数々を聴くことができると思うと感無量です。(中尾)

LAN・CAFÉ だより 2016 年 5 月号 (第 2 号)

WEB 版 URL :

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.html>

2016 年 4 月 25 日発行

発行 : 愛知大学豊橋語学教育研究室


















〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1

TEL : (0532) 47-4170 FAX : (0532) 47-4184

URL : <http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/>

2016年5月

LANGUAGE・CAFÉ 5限の部 プログラム

日	月	火	水	木	金	土
1	2 EC Opinions, reason, support O.R.S...  Michael Boyce	3 CF 経験を表す表現 (déjà/pas encore/jamais)  Régis Olivero	4	5	6 EC Second group 'light topic' discussion  Peter Lyon	7
8	9 EC O.R.S. practice  Michael Boyce	10 CF シャンソン (「働きたくない」、ザーズ、ジェニフェル、カルメン・ヴェガ)  Régis Olivero	11 EC Group Assignment and Discussion  Daniel Devolin	12	13 EC Seminar presentation  Peter Lyons	14
15	16 EC Introduction to logic.  Michael Boyce	17 LS 山中哲夫シャンソンを歌う  山中哲夫	18 EC Group Assignment and Discussion  Daniel Devolin	19	20 EC Student seminars led  Peter Lyons	21
22	23 EC Logic practice.  Michael Boyce	24 CF 地理、場所を表す表現  Régis Olivero	25 EC Group Assignment and Discussion  Daniel Devolin	26	27 EC Student seminars led  Peter Lyons	28
29	30 EC Critical thinking  Michael Boyce	31 CF 地理、場所を表す表現  Régis Olivero	<p>EC=English Café CF=Café français LS=Language Café Special</p>			

LANGUAGE・CAFÉ 昼休みの部 : English Café 月・火・水 中文茶座 火 Café français 金